

議会改革

開かれた議会を目指して 議会改革その一歩!!



9月議会が終わり、議会モニター会議を開く中で、モニターからの意見により、早急に対応を迫られる課題が明確になった。

「発言のない議員がいる」「発言内容に開きがある。活発な発言を求める」「議案を事前に勉強して、より良い議案に高めてほしい」など。もっともなご意見である。住民の代表として住民の想いを代弁するはずの議員の姿を見たとき、現実を率直に受け止めたのだと思う。

議場とは、村政全般にわたる重要事項を決定する場であり、そのための議論が尽くされる場である。そして最終的に村の政策を議会として意思決定する神聖な場である。その場所で村民の負託を受けた議員それぞれが、根拠に基づいた賛成・反対討論を述べ、十分議論を尽くしているのか……問われたと感じる。

議会改革とはこの一歩から始まる。心して取り組まないと議会は村民からの信頼を失う。

議会運営委員長 塩原 智恵美



モニター会議の様子

9月定例会終業後の28日午後6時より、議会モニター7名全員の皆さんと、議会運営委員会所属の議員が出席して第2回モニター会議を開催した。会議では議員とは全く別の視点から率直な意見、発言が数多く

モニター効果絶大 行政と議員双方に緊張感!!

9月8日から開催された朝日村議会9月定例会は、連日多くの傍聴者にお越しいただいた。大多数は議会が本年度から新たに募集し、応募いただいた議会モニターの皆さんだった。

ここ数年の議会は村民の傍聴者は残念ながら少なかった。それが、モニター制度が始まった7月以降、本会議はもとより委員会にも傍聴者があり、日によっては傍聴席が満席状態に

第2回モニター会議開催 村政へ真摯な意見!!

9月8日から開催された朝日村議会9月定例会は、連日多くの傍聴者にお越しいただいた。大多数は議会が本年度から新たに募集し、応募いただいた議会モニターの皆さんだった。

ここ数年の議会は村民の傍聴者は残念ながら少なかった。それが、モニター制度が始まった7月以降、本会議はもとより委員会にも傍聴者があり、日によっては傍聴席が満席状態に

出された。議会ではいただいた意見や提言を全員協議会に報告・共有化を図り、今後の議会運営、議会活動に生かしていきたいと考えている。また、整理、検討した内容をホームページでの公開に向けて話し合っている。

ここでは発言の主旨を抜粋して紹介する。

- 会議における議員は、発言の権利があると同時に義務もあると思う。出て黙っているのではなく、活発な議論・討論をして欲しい。
- 文章を出したので周知した、書類が各戸に渡っているので理解されているはず、そのような

答弁が村側に多いと感じた。

- YouTubeやオンラインを活用して、会議等が簡単に見られるようにしたい。
- 行政の出す議案も完全無欠でない場合もある、議員はしっかりと勉強して至らない点を討論で指摘し、正しい議案にして欲しい。
- テレビ放送はされているが、今後は障害のある方に対する配慮をお願いしたい。
- 避難所は基本、地元の人が運営する。コロナの状況も良くなってきたので、避難所の設営訓練や会議を持ったほうが良いのではないか。

議会運営委員会

副委員長 中村文映

—議会モニター募集中—

ご都合のつく時に議会の傍聴やAYT放送・ホームページ等をご覧いただき、議会への意見・提言を行っていただく議会モニターを募集します。現在定員10名に対し8名の参加をいただいています。村政に興味や関心のある方は是非ご応募をお願いします。